

漢方薬・鍼灸による全身麻酔合併症の包括的予防法に関する研究を行った。

臨床研究① 鍼灸によるダビンチ手術での術後顔面浮腫軽減効果の研究

【目的】 現在、ロボット支援前立腺全摘術は多くの施設で行われている。しかし、術中は長時間気腹下に頭低位の姿勢を維持するため、術後の合併症として顔面浮腫がしばしば発生する。翳風穴は耳鳴りのツボ（経穴）として知られているが、顔面浮腫にも効果があると言われている。今回我々は手術中に翳風穴の SSP（Silver Spike Point）刺激の顔面浮腫に対する影響について、前向きランダム化臨床試験を用いて検討したので報告する。

【方法】 本研究は倫理委員会で承認され事前臨床試験登録も行った。全身麻酔下にロボット支援下前立腺全摘除術を受ける成人患者20名を鍼灸群10名とコントロール群10名に封筒法を用いてランダム化した。麻酔はプロポフォール、レミフェンタニル、ロクロニウムで導入した。鍼灸群では麻酔導入後に翳風穴に SSP 刺激を 3Hz 20mA で加え、抜管前まで刺激を続けた。導入直後と抜管直前に、顔面浮腫の程度を、下顎角から顎先、目の高さでの頭周囲、上顎の高さでの頭周囲を計測した。また、眼球の浮腫、視覚異常、覚醒後興奮の程度を調べた。統計はマンホイットニーU検定を行い、 $P < 0.05$ を有意とした。

【結果】 下顎から顎先までの長さは術前では鍼灸群とコントロール群には有意差を認めなかったが ($P = 0.129$)、術後では両群で有意差を認めた（鍼灸群 13.3 ± 1.5 cm コントロール群 14.9 ± 1.5 cm, $P < 0.001$ ）。また、目の高さでと上顎の高さでの頭周囲も術前では鍼灸群とコントロール群に有意差はなかったが（目の高さ $P = 0.491$ 、上顎の高さ $P = 0.068$ ）、術後には有意差を認めた（それぞれ $P < 0.001$ ）。

SSP を用いた翳風穴刺激はロボット支援前立腺全摘術後の顔面浮腫を軽減する可能性が示唆された。

臨床研究② 術前柴苓湯内服による周術期不安の軽減に関しては、有意な効果は認めなかった。

臨床研究③ 術前治打撲一方内服による抜歯後疼痛軽減効果に関しては、継続中である。

SSP を用いた翳風穴刺激

